



災害へのチェックリスト

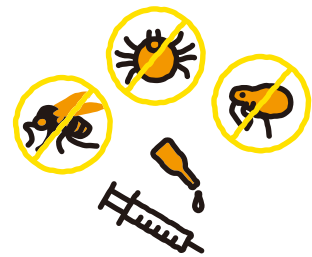
1 住まいや飼養場所の防災対策

- 家具やケージの固定、転倒防止、落下防止
- 屋外飼養の場合は、飼養場所の安全確認（外塀やガラス窓の近くを避ける）
- ケージなどペットの避難場所（隠れ場所）の確保

2 ペットのしつけと健康管理

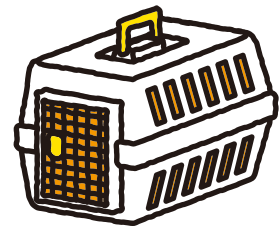
犬の場合

- 「待て」「おいで」「お座り」「伏せ」などの基本的なしつけをする
- ケージなどの中に入ることを嫌がらないように、日頃から慣らしておく
- 不必要に吠えないようにしつける
- 人や他の動物を怖がったり攻撃的にならないように慣らしておく
- 決められた場所で排泄ができるようにする
- 狂犬病予防接種（義務）に加え各種ワクチンを接種する
- 犬フィラリアやノミ・ダニなどの寄生虫を予防、駆除する
- シャンプーやトリミングにより身体を清潔に保つ
- 不妊去勢措置を行う



猫の場合

- ケージなどの中に入ることを嫌がらないように、日頃から慣らしておく
- 人や他の動物を怖がらないように慣らしておく
- 決められた場所で排泄ができるようにする
- 各種ワクチンを接種する
- 寄生虫を駆除する
- 不妊去勢措置を行う
- できる限り室内で飼養する
（放し飼いだと災害時に行方不明になることが多い）





災害へのチェックリスト

3

ペットが行方不明にならないための対策

鑑札、迷子札、マイクロチップなどによる所有者明示

犬の場合

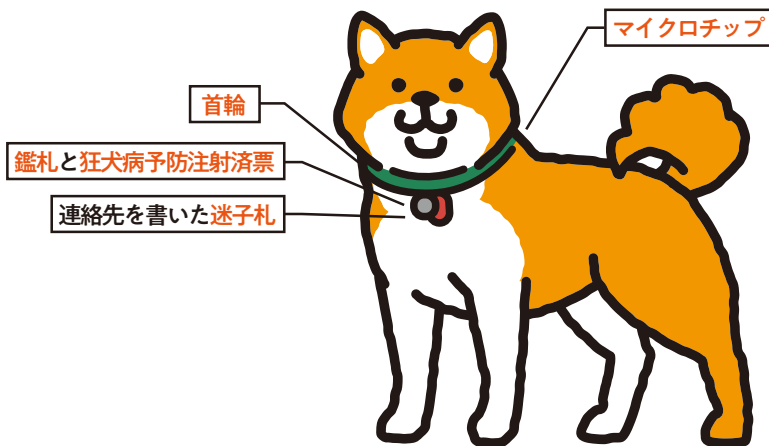
首輪と迷子札

鑑札、狂犬病予防注射済票

飼い犬は狂犬病予防法により鑑札の装着、年一回の狂犬病予防注射をしたことの証明となる注射済票の装着が義務づけられている

マイクロチップ

挿入した際は必ず、(公社)日本獣医師会などに飼い主情報や動物情報を登録する



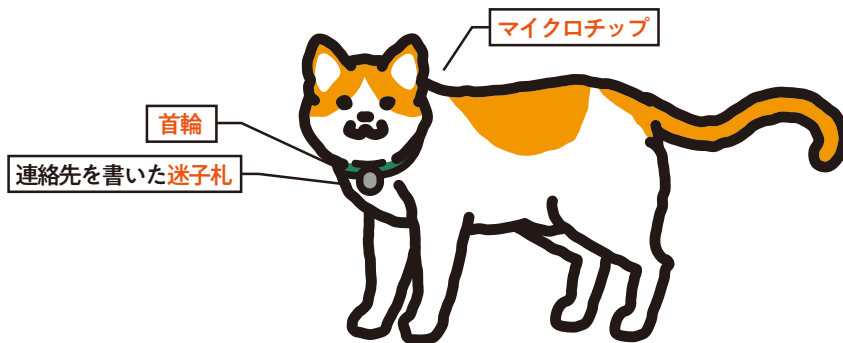
猫の場合

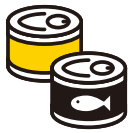
首輪と迷子札

猫の首輪は引っかかりを防止するために、力が加わると外れるタイプがよいと言われるが、これを利用する場合はマイクロチップの装着を強く推奨する

マイクロチップ

挿入した際は必ず、(公社)日本獣医師会などに飼い主情報や動物情報を登録する





災害へのチェックリスト

4

ペット用の避難用品や備蓄品の確保

ペット用の備蓄品と、持ち出す際の優先順位の例

優先順位1 動物の健康や命に係わるもの

- 療法食、薬
- ペットフード、水 (少なくとも5日分 [できれば7日分以上])
- キャリーバッグやケージ (猫や小動物には避難時に欠かせないアイテム)
- 予備の首輪、リード (伸びないもの)
- ペットシート
- 排泄物の処理用具
- トイレ用品 (猫の場合は使い慣れた猫砂、または使用済猫砂の一部)
- 食器

優先順位2 情報

- 飼い主の連絡先と、ペットに関する飼い主以外の緊急連絡先・預け先などの情報
- ペットの写真 (印刷物とともに携帯電話などに画像を保存することも有効)
- ワクチン接種状況、既往症、投薬中の薬情報、検査結果、健康状態、かかりつけの動物病院などの情報

優先順位3 ペット用品

- タオル、ブラシ
- ウェットタオルや清浄綿 (目や耳の掃除など多用途に利用可能)
- ビニール袋 (排泄物の処理など多用途に利用可能)
- お気に入りのおもちゃなど匂いがついた用品
- 洗濯ネットなど (猫の場合は屋外診療・保護の際に有用)
- ガムテープやマジック
(ケージの補修、段ボールを用いたハウス作り、動物情報の掲示など多用途に使用可能)